

安全データシート



1. 製品および会社情報

製造者情報

会社名：有限会社 パシフィック化学
住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-48F2
電話：03-3986-1578 FAX：03-3971-2613
作成：2015年12月2日 2016年6月1日改定

整理番号 SVIR-01・SVIR-02
製品名 ソルベント ケシロン
物質の特定 混合物

2. 危険有害性の要約

GHS分類：危険性・有害性に対する区分は、「分類対象外」「区分外」または「分類できない」である。

注意書き：可燃性があるので、火気に注意する。
廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

★製品はサインペン形態なので必ずしもあてはまらない。

3. 組成及び成分情報

化学名	CAS No.	—混合物—	(混合液は JIS 規格に基づき調整)		
		含有量	安衛法	化管法	毒劇法
エステル	—	90 %	—	—	—

4. 応急措置

- 目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付いた場合：石鹼を使って大量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
- 大量に吸収した場合：直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静に努める。その後医師の手当てを受ける。(少量の容器なので、大量に吸収することは、ほとんどない)
- 誤飲した場合：医師の手当てを受ける。
(少量の容器なので、大量に吸収することは、ほとんどない)
- 応急処置をする者の保護：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

—製品—

- 消火剤：この製品は可燃性である。
粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。
- 使ってはならない消火剤：棒状放水 (本品があふれ出し、火災を拡大するおそれがある)
- 特有の危険有害性：本製品の蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動することがあり、屋内、屋外、下水溝などでの遠距離引火の可能性はある。
引火点(約98℃)以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：火元への燃焼源を遮断する。
火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

－製品－

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置：：漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。

漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。皮膚、眼などの身体とのあらゆる接触を避ける。風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項：：河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。

海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。

回収、中和：：乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる空容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：：危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策：：事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。周辺の発火源を速やかに取除く。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入

を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

－製品－

取扱い

技術的対策：：裸火禁止。強力な酸化剤との接触禁止。ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。指定数量以上の量を取扱う場合、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行なう。指定数量以上の危険物を貯蔵し、取り扱う場合は消防法に基づく許可が必要で、危険物貯蔵所に保管する。指定数量の1/5以上、1未満（少量危険物）の場合も、少量危険物貯蔵所に保管し、法の規制を受け、最寄の消防署に届出を行う必要がある。指定数量の1/5未満の危険物の貯蔵・取り扱いについては届出の必要はない。炎、火花または高温体との接触を避ける。本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。

局所排気・全体換気：：換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。

蒸気は空気より重く、床に沿って移動することから、床面に沿って換気する。

安全取扱注意事項：：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗う。

接触回避：：炎、火花または高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策：：保管場所は壁、柱、床等を耐火構造とする。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けない。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設ける。保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

保管条件：：直射日光や高温を避ける。吸湿性があるので、なるべく乾燥した場所に保管する。容器を密閉して換気の良い冷暗所に保管する。施錠して保管する。必要に応じて、危険物を貯蔵する所には「火気厳禁」等の表示を行う。混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。

混触危険物質：：強酸化剤（硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなど）、酸、塩基、

アルコール、アミン
容器包装材料 : ガラスなど

8. ばく露防止および保護措置 —製品—

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会 (2010年版) 設定されていない。

ACGIH (2010年版) 設定されていない。

設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。ミスト、蒸気が発生する場合、換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具 (有機ガス用防毒マスク) を着用する。

手の保護具 : 保護手袋 (ネオプレン製など) を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所には近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭にする。

管理濃度 作業環境評価基準 : ホルミト[®] 非設定 2-エトキシエタノール 5 ppm

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ホルミト[®] 非設定 2-エトキシエタノール 5 ppm, 19 mg/m³
ACGIH TLV(s) ホルミト[®] TWA 10 ppm 2-エトキシエタノール TWA 5 ppm

保護具 : 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護衣、保護長靴等を使用する。

衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。取扱い後はよく手を洗う。保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質 —製品—

外観	: 液体	臭気	: 弱いエーテル臭
沸点	: 204 °C	融点	: -44°C
引火点	: 101 °C	発火点	: 455 °C
爆発範囲	: 12.6vol.%/2 vol%	pH	: 現在知見なし
蒸気圧	: 40pa(20°C)		
蒸気密度	: 3		
溶解性	: アルコール、エーテル、ケトン易溶		

10. 安定性及び反応性 —製品—

安定性 : 通常の実験条件において安定である。吸湿性がある。光のばく露により徐々に分解する。熱アルカリで加水分解される。

危険有害反応可能性 : 強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。酸、塩基、アルコール、アミンと反応する。

避けるべき条件 : 日光、熱、火気、火花、静電気、火源

混触危険物質 : 強酸化剤、酸、塩基、アルコール、アミン

危険有害な分解生成物 : 燃焼の際は、有害な一酸化炭素、二酸化炭素ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 : LD50 (経口) ラット 1540mg/kg
LD50 (経口) マウス 1720mg/kg
LD50 (経皮) モルモット >5000mg/kg
LD50 (経皮) モルモット <5650mg/kg
LC50 (粉塵/ミスト) ラット >5.1mg/L

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
変異原性 : 区分外
生殖毒性 : 区分外

12. 環境影響情報

移動性 : 物理化学的性質からみて大気、水系、土壌環境に移動しうる。
残留性/分解性 : 現在知見なし
生態蓄積性 : 現在知見なし
生態毒性/魚毒性 : 現在知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。少量の場合はおがくず、ウエス等に吸着させて開放型の焼却炉で焼却する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄してから排出する。
汚染容器及び包装: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去したあとに処分する。
本製品は、産業廃棄物に該当する。処理を委託する場合は、廃棄物処理業の免許を持った業者へ、産業廃棄物管理票を添えて依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号: なし
国連分類: ペン適用外 (内容液 P.G. 3)
注意事項: 運送に関しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法 : 危険物第4類第3石油類(水溶性)危険等級3
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質管理促進法 : 非該当
有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。